

## 北海道エアポートの 2024 年度事業計画について

### 1 趣旨

北海道エアポート株式会社（HAP）は、北海道内 7 空港の一体運営に当たり、実施契約に基づき 2024 年度事業計画を公表した。

### 2 公表日

令和 6 年（2024 年）3 月 26 日（火）

### 3 計画の内容

#### （1）取組方針

- 7 空港バンドリングメリットの具体化を進め、高い品質と効率性を両立させた北方圏随一の空港運営を目指す。
- 航空ネットワークの充実及び二次交通整備・観光開発へ取り組むとともに、十分な受入体制を構築し、航空需要の最大化に努める。
- イノベーションの積極的な活用、サステナブルな事業運営体制構築を進め、魅力ある空港の実現に向けた各種施策を、投資対効果を踏まえながら着実に実行する。

#### （2）旅客数等の目標値（7 空港合計）

項目		2024 年度	備考
旅客数（万人）	国内線	2,620.3	2019 年比 100%
	国際線	419.2	2019 年比 103%
	合計	3,039.5	2019 年比 101%
貨物量（万トン）		20.7	

#### （3）目標達成に向けた主な取組

##### <安定した事業実施体制の確立、安全・安心かつ効果的・効率的な空港運営の推進>

- グランドハンドリング・保安検査等の応需能力強化、受入環境整備
- 全社的な DX 推進に向けた構想設計、脱炭素における目標達成に向けた実施計画策定
- 大型産業集積への対応、多様な企業・自治体との連携を通じた新たな価値創出

##### <航空・観光需要の回復に向けた取組>

- 新千歳・函館・旭川における国際線定期便の増便に加え、7 空港全てで国際線チャーター便受入
- 新千歳空港ビジネスジェット専用ターミナルをフックとした富裕層の来道需要取り込み並びに道内周遊観光の推進
- 若年世代等へのプロモーションを実施する等、デジタルマーケティング施策の推進・強化

＜空港施設の利便性・安全性向上に向けた施策の推進＞

- ・ 安全・安心な空港運営に資する滑走路、誘導路、航空灯火等の更新
- ・ カーボンニュートラル化に向けた施策、職場環境改善に向けた投資の検討・実施
- ・ 駐車場拡張及び国内線施設等改修に係る設計・工事

(4) 損益計画 (単位：億円)

項目	2024 年度
営業収益	558
営業費用	563
営業損益	▲6
EBITDA (=営業利益+減価償却費)	201

(5) 投資計画 (単位：億円)

項目	2024 年度	主な投資内容
機能維持投資	151.5	・ 空港基本施設・車両などの更新 ・ 旅客ビル施設に関する修繕
活性化投資	43.7	・ 駐車場拡張に係る設計・工事 ・ 国内線施設等改修に係る設計・工事
合計	195.1	